

電気ショッカーボート「雷神」の導入と事業成果

磯田能年、吉岡 剛（滋賀県農政水産部水産課）

【背景】

滋賀県では平成 23 年度から、魚食性の強いオオクチバスに特化し、稚魚発生を抑制することにより、在来魚稚魚の食害を未然に防ぐことを目的とした事業に取り組んでいる。昨年度は、数種類の漁法でオオクチバス親魚の駆除効率を検証したが、南湖においては、電気ショッカーボートによる駆除がもっとも効率が高いことが分かった。

そこで、平成 24 年度は電気ショッカーボートを独自に導入し、琵琶湖南湖において事業規模でオオクチバス駆除を行い、その効果を検証している。

【電気ショッカーボート「雷神」概要】

電撃ユニット：エレクトロフィッシャー5.0GPP 型（スミス・ルート社）＊国内最大
最大出力 1000V 16 アンペア

ボート：BF-23（ヤマハ発動機株式会社）

全長-7.03m 全幅-2.01m 総トン数-1.0トン 出力-60馬力

進水日：平成 24 年 5 月 29 日

【10 月までの駆除事業成果】

○駆除方法

電気ショッカーボートに 5 名、後追い船に 2 名が乗船し、琵琶湖南湖沿岸を通電しながら微速で航行し、感電した外来魚のみをタモ網ですくい上げた。在来魚への影響を考慮して、直流で実施し、電流は 5 アンペアを上限に調整した。

○実施時期および回数

半日実施で 1 回とし、6 月～7 月（夏期）に 16 回、10 月（秋期）に 14 回実施した。
夏期は南湖を 1 周と 1/4、秋期は南湖を 1 周した。

○駆除結果

時期	実施回数	駆除量 (kg)		合計
		オオクチバス	ブルーギル	
夏期	16 回	2,083kg	192kg	2,276kg
秋期	14 回	1,327kg	192kg	1,519kg
合計	30 回	3,411kg	385kg	3,796kg
1 回あたり平均		114kg	13kg	127kg

【今後の予定】

- ・産卵期前の 2 月～3 月に 8 回操業予定。
- ・駆除後の稚魚発生状況から、電気ショッカーボートによる駆除効果を検証。
- ・産卵盛期である 4～5 月を含め、通年実施しデータを蓄積する予定。